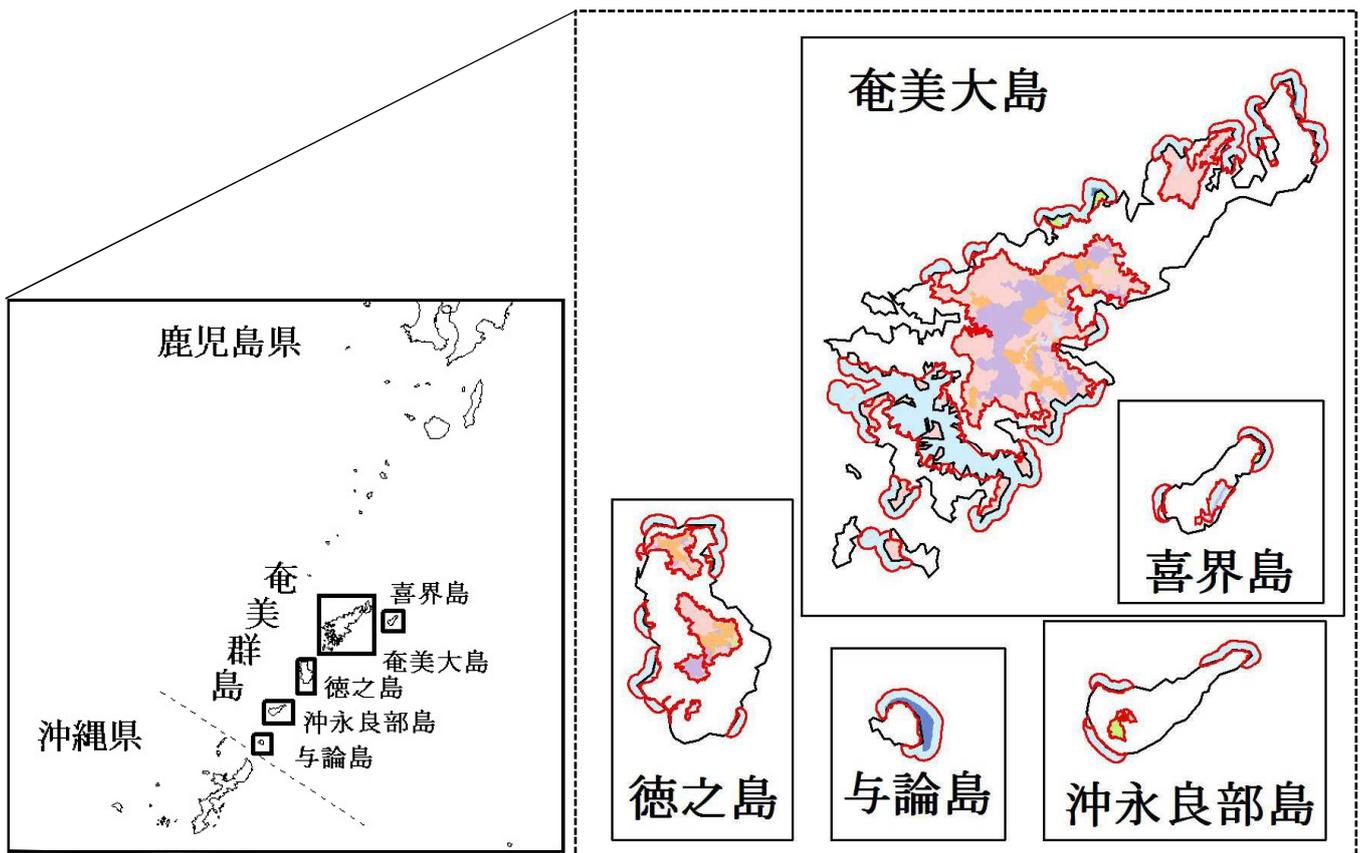


奄美群島国立公園

指定及び公園計画の決定

奄美群島国立公園の位置



奄美群島

奄美大島

固有・希少種が棲む亜熱帯照葉樹林、
マングローブ、リアス海岸など

徳之島

固有・希少種が棲む亜熱帯照葉樹林、
海食崖など

喜界島

段丘地形、海岸地形など

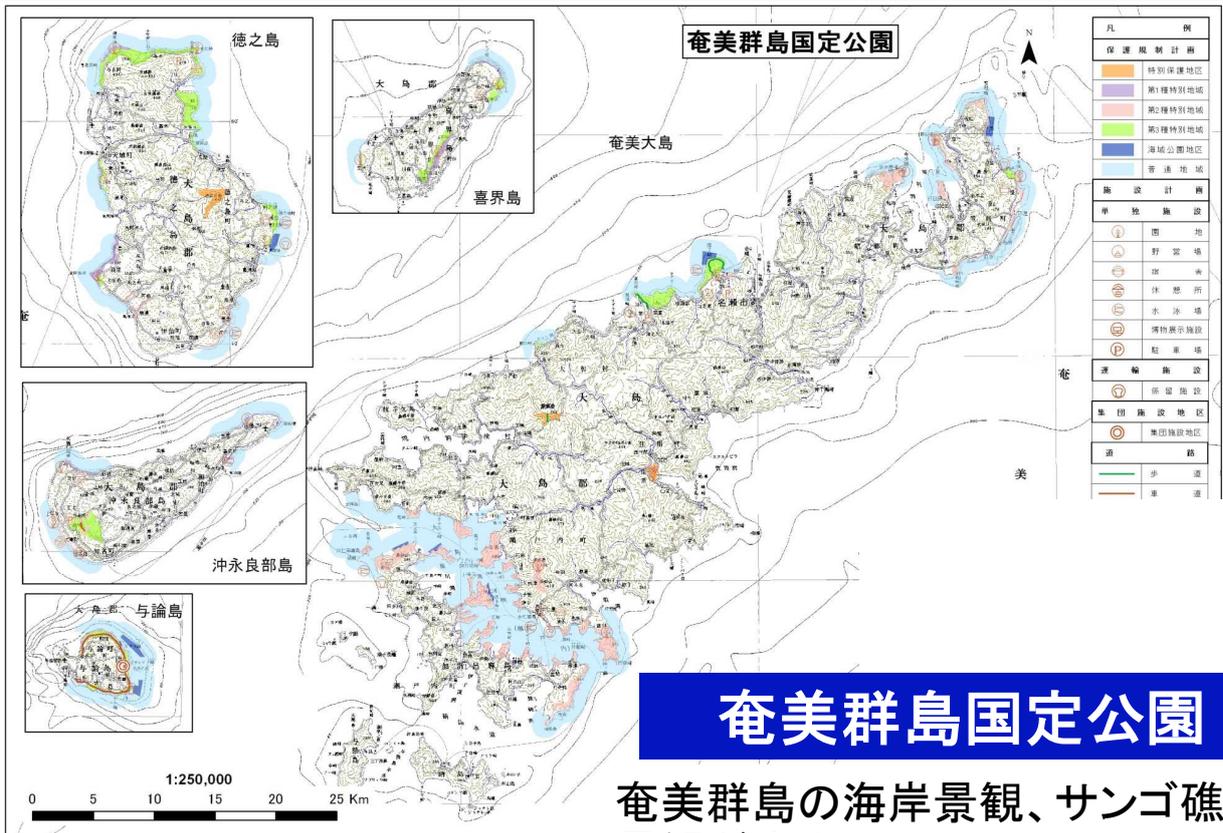
与論島

沖合約1kmに及ぶ広大な礁湖など

沖永良部島

琉球石灰岩のカルスト地形など

現状の自然公園



奄美群島国立公園

奄美群島の海岸景観、サンゴ礁
景観が中心

奄美群島国立公園指定の背景

昭和49年 奄美群島国定公園の指定

平成15年 「世界自然遺産候補地に関する検討会」で
世界自然遺産候補地として選定

平成19年 「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する
提言」で、「奄美群島の照葉樹林を国立公園指
定も視野に評価すべき」

平成21年 「奄美地域の自然資源の保全・活用に関する基
本的な考え方」を公表

平成22年 新規国立公園候補地として抽出
(国立・国定公園総点検事業)

平成28年度 奄美群島国立公園の指定へ

地域の概要(自然環境)

地形

高島・・・奄美大島、徳之島

新生代第三紀より古い地層から構成。主として中生代の粘板岩や砂岩で形成された山地が多く、起伏が大きい。

低島・・・喜界島、沖永良部島、与論島

第四紀に形成された琉球石灰岩からなり、低平な島で、海岸線は出入りが少ない。段丘地形が発達。沖永良部島では、カルスト地形が顕著。

海岸沿いには、サンゴ礁が発達(世界北限)



地域の概要(自然環境)

植生

○山地帯 (主に奄美大島や徳之島など)

スダジイ等を優占種とする亜熱帯照葉樹林。

大部分が二次林(自然植生は奄美大島で6.5%、徳之島で3.5%)

○低地帯 (主に喜界島、沖永良部島、与論島など)

アコウ、ガジュマル、ハマイヌビワなどで構成される常緑広葉樹林。

○その他、マングローブ林、海浜植生 等



地域の概要(自然環境)

野生動植物

奄美群島の地史を背景に、独特の進化を遂げた固有動植物及び希少動植物などが生息・生育。

アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ、アマミヤマシギ、オットンガエル、アマミイシカワガエル、リュウキュウアユ、アマミセイシカ、ウケユリ等



地域の概要(歴史・人文・産業)

- 地理的位置と歴史的経緯から、琉球文化と大和文化が解け合った独特の文化を形成(島唄、踊り、豊年祭など)
- 島嶼故に、人の生活圏と森林や海が近接し、周囲の山や海と一体となった生活。
- 集落の背後に神が降り立つ山(カミヤマ)、海の彼方には神々がいる理想郷。
- 農業(サトウキビ)、林業(チップ材)、漁業(まぐろ等)、観光業、大島紬 等



地域の概要(利用)

入込者数

奄美大島:42万人、喜界島:5万人、徳之島:13万人、
沖永良部:9万人、与論:6万人
7、8月の入り込みが多いが、年間を通じて平準化している

利用形態

景勝地や海浜巡り、亜熱帯照葉樹林の散策、
カヌー体験、ダイビング、海中景観探勝、
海水浴、生物観察 等



生命にぎわう亜熱帯のシマ～森と海の島人の暮らし～

固有種が分布する亜熱帯照葉樹林の生態系

干潟・マングローブ林の生態系



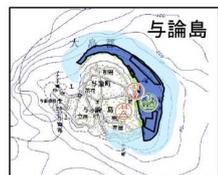
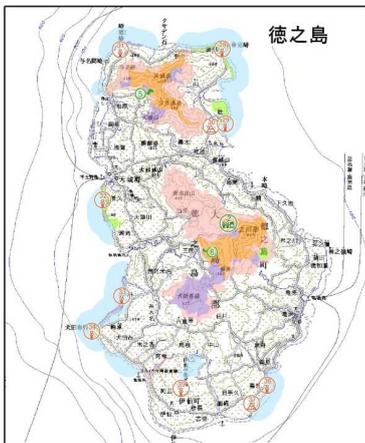
奄美群島国立公園

河川生態系

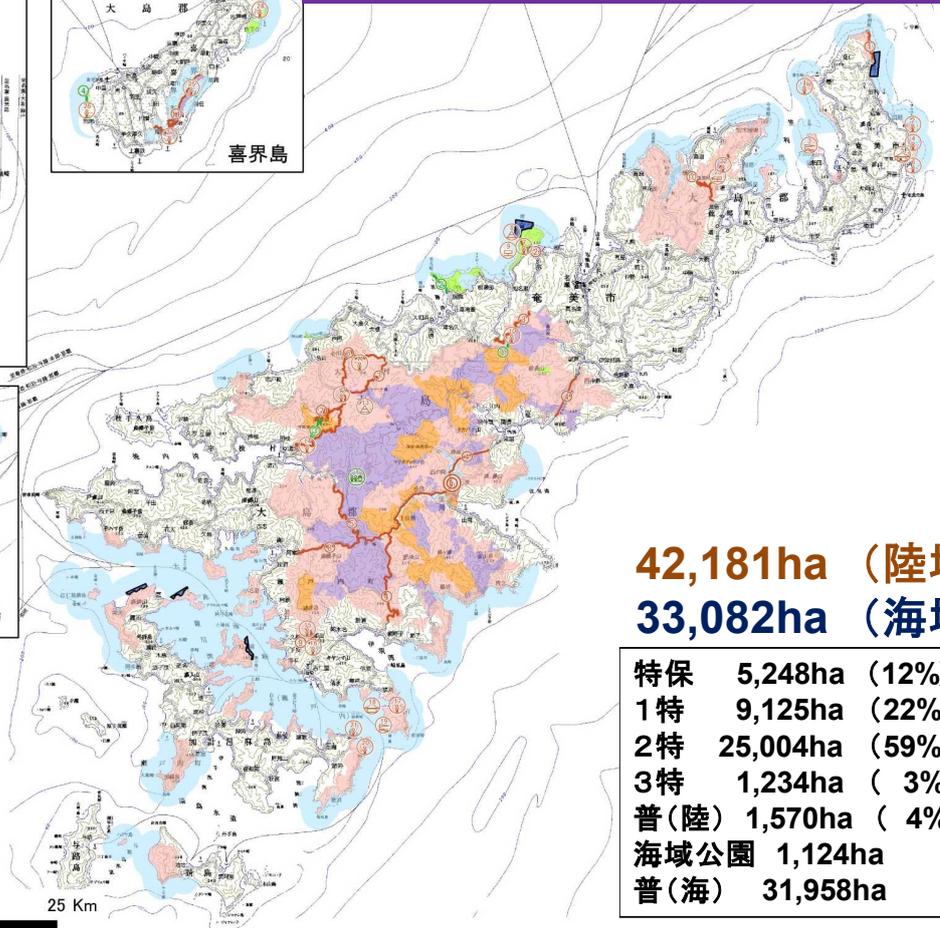
サンゴ礁の生態系

リアス海岸、カルスト地形

人と自然の関わり



国立公園区域



42,181ha (陸域)
33,082ha (海域)

特保	5,248ha	(12%)
1特	9,125ha	(22%)
2特	25,004ha	(59%)
3特	1,234ha	(3%)
普(陸)	1,570ha	(4%)
海域公園	1,124ha	
普(海)	31,958ha	

奄美大島

特保 3,806ha (11%)
 1特 7,735ha (23%)
 2特 21,723ha (63%)
 3特 438ha (1%)
 普(陸) 623ha (2%)
 海域公園 213ha



徳之島

特保 1,442ha (23%)
 1特 1,025ha (17%)
 2特 3,049ha (50%)
 3特 288ha (5%)
 普(陸) 318ha (5%)



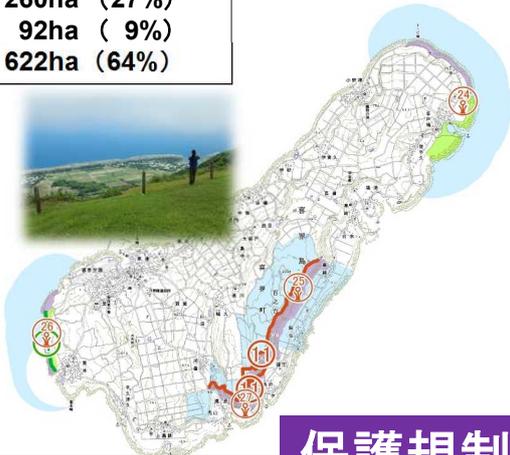
保護規制計画

- 特保** 概ね80年生以上の高齢林等で希少な野生動植物の生息・生育地として重要な地域
- 1特** 比較的高齢な照葉樹林で希少な動植物の生息地、特保と共に核心部となる地域
- 2特** 希少種の生育・生息地を有する二次林で農林漁業活動と調整が必要なエリア 等

喜界島

隆起珊瑚礁の海岸景観・段丘 等

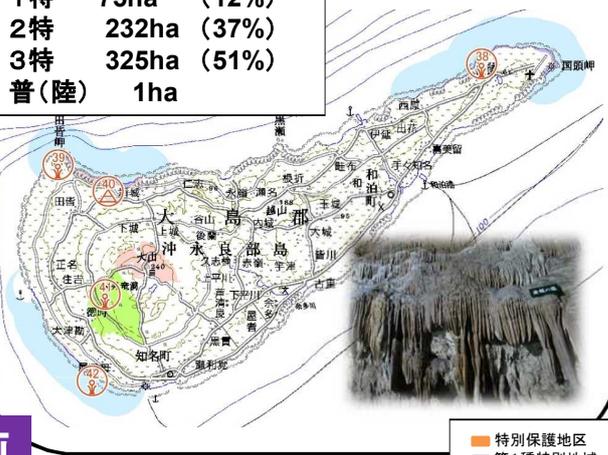
1特 260ha (27%)
 3特 92ha (9%)
 普(陸) 622ha (64%)



沖永良部島

琉球石灰岩の海岸景観、カルスト地形 等

1特 75ha (12%)
 2特 232ha (37%)
 3特 325ha (51%)
 普(陸) 1ha



保護規制計画

与論島

1特 30ha (25%)
 3特 91ha (75%)
 普(陸) 1ha
 海域公園 911ha



サンゴ群落、海岸からの景観

奄美大島

園地	15箇所
宿舎	2箇所
野営場	2箇所
水泳場	2箇所
博物展示施設	2箇所
集団施設地区	1箇所
自然再生施設	1箇所
車道	10路線
歩道	3路線



- 園地
- 宿舎
- 野営場
- 水泳場
- 博物展示施設
- 集団施設地区
- 自然再生施設

- 車道
- 歩道

徳之島

園地	8箇所
野営場	2箇所
自然再生施設	1箇所
歩道	2路線



施設計画

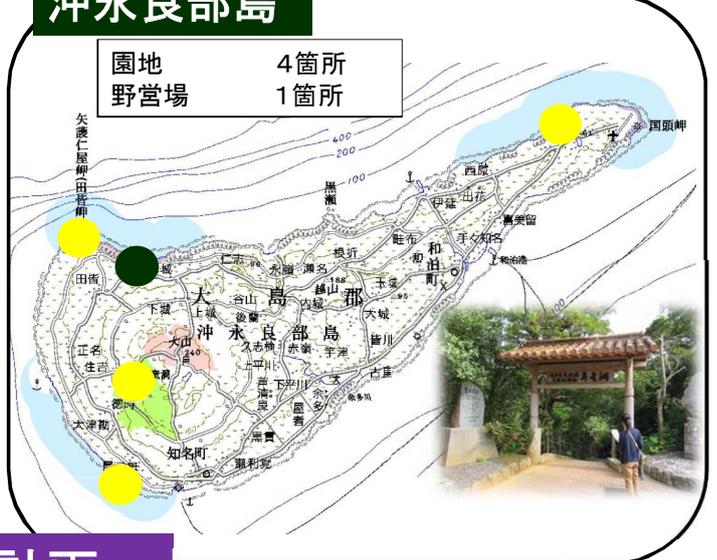
喜界島

園地	4箇所
車道	1路線
歩道	1路線



沖永良部島

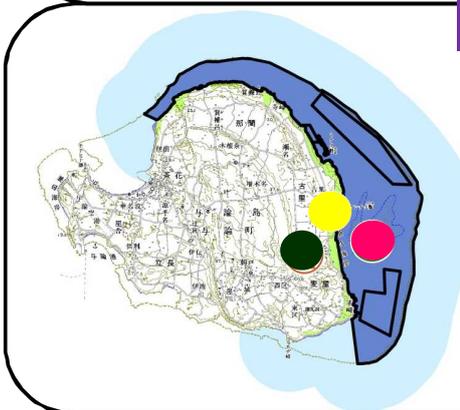
園地	4箇所
野営場	1箇所



施設計画

与論島

野営場	1箇所
園地	1箇所
自然再生施設	1箇所



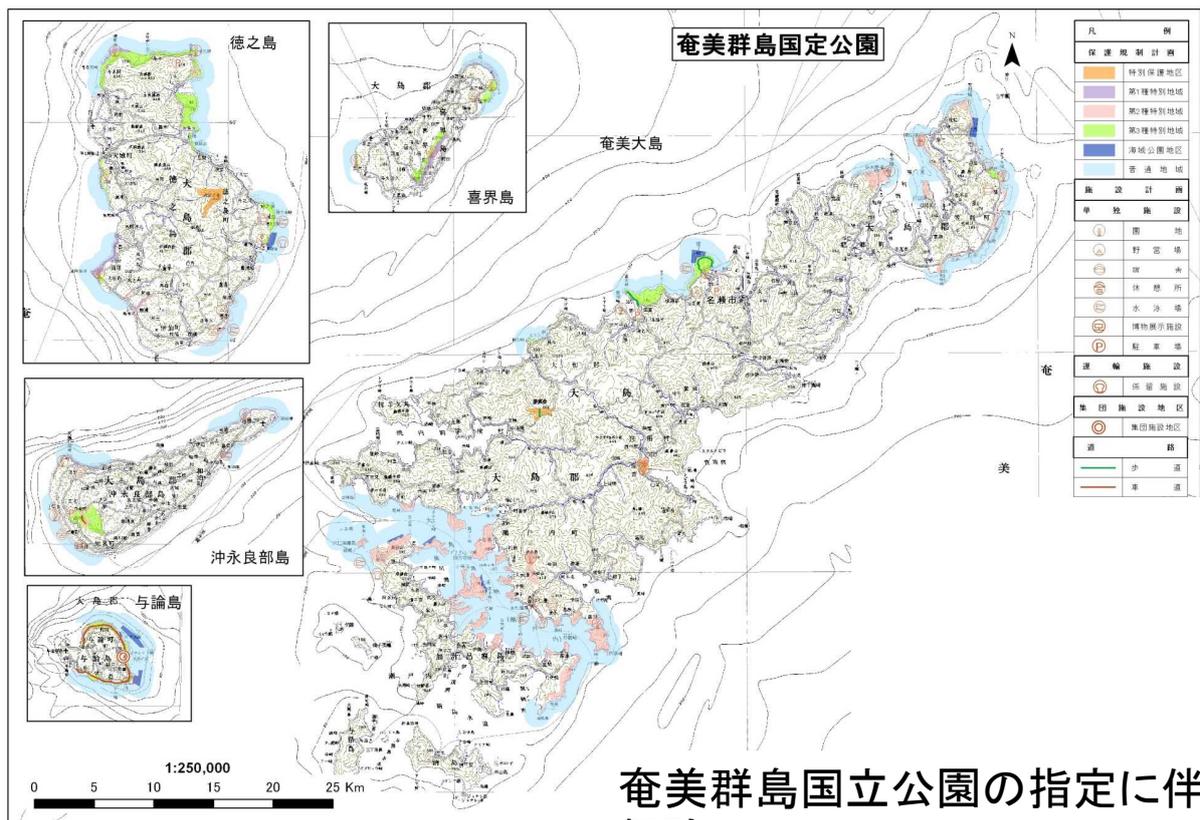
- 車道
- 歩道
- 園地
- 野営場
- 自然再生施設

名称について

奄美群島国立公園

既存の自然公園の名称…”奄美群島”国立公園

奄美群島国立公園の解除



奄美群島国立公園の指定に伴い、
解除

パブリックコメントの実施結果

■概要

・実施期間 平成28年10月6日(木)～11月4日(金)の30日間

・意見募集の結果

【意見提出数】

電子メール、郵送、FAX 計 79 通

【整理した意見数】

今回の指定案にかかるもの 計 230 件

・意見の内容

参考資料1のとおり
